

# HSK

# どうじん

第 32 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H. S. K通巻224号

発行日 平成2年12月10日  
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会  
札幌市北区北35条西5丁目1-10  
AMS南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市北区北13条西1丁目  
神原義郎

平成2年 初冬号

## 第10回腎バンク登録者拡大全国一斉 街頭キャンペーン報告



〈雪山〉道展会員一水会会員 田中祥三氏作品

北海道腎臓病患者連絡協議会

# 小石投げれば社長さん

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫



札幌の薄野といえばまさに天下に名だたる繁華街で、飲み屋の数の多いことはその筋の人達の間でさえ、三千とも四千ともいわれる程おびただしい数です。ですから文字通り生存競争が激しく、一ヶ月振りでのこの街に踏み入れると看板の代っている店が数軒あり、真偽の程はわかりませんが開店三日でつぶれた店さえあるんだそうです。

その薄野の下真中で宣伝も余り熱心にする訳ではありませんが、特別に店の造りがよいわけではないし、そうかといって女

性が美人揃いというわけでもないし、つまりありきたりのAという小料理屋があります。

ところが、この店はどういうわけか客の切れ間がないのです。水商売といわれるくらいです。忙しい時は一服するひまもなく忙しいし、暇な時は一晩中に一人の客もなくて、店の者同士でトランプやら花札で時間をつぶすといったこともあるのがこの商売の特徴でもあるのですが、このAという店はそれがありません。

私はこのAという店の板前さんが好きで(本当かな...)月に一日か二日、自分の好きな料理を造らせてはカウンター越しに彼と雑談を交わしながら天下国家を論じ、薄野の最近の景気の動向などを聞くのが楽しみでこの店を利用しているのですが、気

をつけてこの店を見ていると一つの特徴があることに気がつきました。

それはこのAという店のママさんのお客に対する呼び方にあるのです。とかく「キャバレー」「クラブ」「割烹」「スナック」「おでん屋」など水商売といわれるところでは昔からお客様を呼ぶのに、私なら姓が岩崎ですから「イーさん」、海部さんなら「カーさん」、中曾根さんなら「ナーさん」というように頭(かしら)の一字を呼ぶものです。ところがこのママさんはイーさん、カーさん、ナーさんではなく社長、部長、課長さんと肩書きで呼びかけるのです。

薄野のビルの屋上から小石を投げたら社長に当たると言われるくらい、たしかに社長はウヨウヨいる筈です。会社の大小は問題ではありませんから。

しかし、それにしても人間というものは肩書きに弱いもの。徹底して「社長さん」という呼びかけを続けるAのママさんは大したものです。プロなのでしようね。係長が間違つて課長と呼ばれ、

課長が部長と呼ばれて怒る者はないし、女中さんが女将(おかみ)さんに間違われて悪い気はしないものです。これは人間のもっている欲望のうちの一つに「偉くなりたいたい」という欲望があるからなのです。

どうですか。貴方の回りを見回してご覧なさい。奥さんと呼ばなければ返事もしない商売のかみさん、奥様と呼ばれなければ知らん振りの女房族、先生と呼ばひかけないと気嫌の悪いあんなさん、社長と言わなければぶつちよう面の焼鳥屋のおやじは居りませんか。

つまり誰しも偉い名札がほしいのです。こちらの話で相手の心を動かそうと思つたら話の上手下手より先に、偉い名札を下げさせることに気を使うことが大事なのです。

「まあ社長さん久し振りね、待つてたわ」なんて言われたら、すぐ鼻の下を長くする旦那なんて実に可愛いもんじやないでしょうか。

お宅の旦那にはどんな偉い名札を下げましようかね。

10月27日

# 第29回道腎協ブロック会議開催される

平成二年十月二十七日、札幌市の北農健保会館において役員・役員代理・オブザーバー事務局員合計二十九名により、第二十九回のブロック会議が開催されました。

開会后、役員及び同じ仲間の方を悼み全員で黙祷を捧げ冥福を祈りました。

岩崎会長の挨拶の後、札幌腎友



会の棧氏を議長に選出して議事に入って行きました。

## 一、報告事項

- (一) 全腎協幹事会報告
- (二) 各ブロック活動報告
- (三) 道腎協前期活動報告
- (四) 前期会計報告
- (五) 前期会計監査報告
- (六) 講演会について

若干の質疑の後、承認されました。

## 二、討議事項

- (一) 全腎協二十周年事業について  
各地方ブロックで独自に対応する。
- (二) 平成四年度全腎協総会開催について  
・ 宿泊、会場場所の中間報告  
・ 札幌近郊四割、地方は二割の会員参加  
・ アトラクション  
会員のプロ歌手に要請
- (三) 道腎協講演会  
・ 北海道  
・ レンタルバスで参加者の駐車場確保  
・ 地方会員への市町村からの補助金の確保  
・ 運転免許試験場への腎登録カード設置について  
道腎本部に要請すること。  
以上審議討論され、無事終了し



ました。

翌、二十八日文化講演会を開催しました。「日本人の物差し、外国人の物差し」というテーマで国学院女子短期大学の倉島齊(せい)先生にお話をして戴きました。

日本人の常識と外国人の常識の違いをユーモアたっぷりに話され大変好評でした。



# 全腎協第五十九回幹事会報告

全腎協幹事 札幌腎臓病患者友の会

川村隆志



第五十九回幹事会は、十月二十日、二十一日両日東京の中野サンブラザで、七十名の役員が集まり開かれました。

今回は議事に入る前に、厚生省保健医療局疾病対策課長補佐の杉原弘美氏により「腎不全対策の現状」というテーマで講演があり、今まで間接的に聞いていた内容を直接聞いたということもあり、私にとってたいへん有意義なものとなりました。

議事に入り、①各ブロック活動報告、②上半期活動報告、③会計報告、④当面の医療と福祉に関する状況についての報告があり、質

疑の後、承認されました。  
また承認事項として、事務所改装にともなう予備費の支出について

て提案があり、承認されました。  
つづいて討議事項に入り、①二十周年記念事業の準備状況と具体的取り組み、②要介護透析患者問題の取り組み、③地域の組織化と活動の強化、④地域における腎疾患対策推進、⑤第二十二回北海道総会の決定について説明があり、討議されました。

その他としては全腎協でバッジを作成するということを決めました。さらに、今回は運営委員に対する要望というタイトルで、自由発言があり、ざつとばらんな内容で話され、その中で全腎協の歌を作っては、というユニークな意見もあり、二日間に亘る会議は無事終了しました。

## 結果報告

### 第十回腎バンク登録拡大(十月七日) 全国いつせい街頭キャンペーン

昭和六十一年度より厚生省が定めた「腎移植推進月間」に呼応し、道腎協もこの「月間」をより盛り上げ、腎バンク登録者の拡大をめざす啓発運動などの道民的運動を展開しました。

十月七日各地方ブロック毎に、患者、家族、医療関係者・行政関係者・ライオンズクラブなどが参加し、ティッシュ・チラシなどを配布して腎バンクへの登録を呼びかけました。

## 十勝地方腎友会

十月七日(日)、街頭腎登録キャンペーンは秋晴れの良い天候に恵まれ、人通りの多い藤丸デパート前、イトーヨーカドー前の二ヶ所で風

船、チラシ、ティッシュペーパーを配りマイクを使って協力を呼び掛け腎友会会員の生き生きとした姿が目にと映りました。昨年より会員の参加が多く賑やかな街頭キャンペーンでした。

オトウ病院の野原婦長さん、長尾看護婦さん、西病院の野田看護婦さんの協力をえて血圧測定、尿検査、健康相談、人気があるのは血圧測定でした。

腎友会会長、木村幸雄氏、副会



ました。

腎臓登録講演会十月十四日(日)十時より帯広総合福祉センター大会議室にて入場者約百名の参加で開催されました。

すとう病院の須藤進先生の進行司会で講演会が進められました。各先生の経歴を発表され紹介し、講演が進められました。

「腎移植の現況について」

市立札幌病院腎移植科

医長 平野哲夫先生

「高血圧と腎不全」

札幌医科大学第二内科

菊地健次郎 助教授

長菊地末三郎氏、顧問新倉儀太郎氏の役員が、各市役所、保健課、市議会道議会事務所、国会議員事務所、報道関係等をくまなくまわり街頭キャンペーン、腎臓移植講演会の協力をお願いし、この様な働きをする事に腎友会組織のイメージを深く刻み込む活躍をされてきております。今後帯広腎友会も大きく羽搏たく事であろうと期待しています。会長、役員の御苦労を心から感謝申し上げます。

北海道新聞社、十勝毎日新聞社、北海タイムス社、東北北海道新聞社、十勝地方版に記事として掲載され



先生方の講演が判り易く説明され、菊地先生の普段の食事管理のバランスを大切にすることが大事である。高血圧は何んらかの原因であり、血圧安定をする事で寿命の長さがきまる。平野先生の講演も腎移植の重大さをスクリーンを使って説明され、参加者の腎移植の協力を呼び掛けていました。

会員一同先輩が今迄苦勞して、現在の私達がある事を忘れてはならないと心に思うものです。

医療関係もだんだん厳しくなる事当然で、一人ひとりの自覚、国会請願署名を提出し運動する事が大切である。私達小さな力でも皆んなで団結することが、医療福祉を守る事ではないでしょうか。

年々増え続ける透析の長期化に伴い、高齢化、障害の重複化という深刻さ、会員の理解を求め安心して透析を受けられる様に頑張りたいと思います。講演会最後に、

北海道腎臓バンク

辻 一郎副理事長北大名譽教授の御挨拶で講演会をすべて終わりました。腎臓提供者の協力を幅広く呼びかけ運動していきたいと思

います。(報告 佐藤武夫)

道南腎臓病患者連絡協議会

道南腎協(田中政夫会長)は、腎臓移植推進月間中の統一行動として、十月七日(日)に全国の仲間と歩調を合わせ、腎臓バンク登録拡大キャンペーンを実施しました。

当日は、前夜の雨がウソのように晴れ上がり、午前十時函館駅前

に会員十六名が集まり市立函館保健所より保健婦さんのお手伝いをいただき「腎臓提供にご協力を」と書かれた横断幕を立て、それぞれが胸にゼッケンをつけて道行く人々にチラシとポケットティッシュ



を配り、腎バンクへの登録と協力を呼びかけました。

今年は何年より時間を繰り上げて実施したため、人出が懸念されましたが、好天に恵まれ、家族連れ等通行人も結構あり、用意した一、五〇〇組のチラシとティッシュは一時間程度で配り終え、今回のキャンペーンが一人でも多くの人達に理解され、腎バンクの登録者が増えることを念じつつ行動を終了しました。

(報告 杉田)

### 小樽後志地方腎友会

道腎協の会員の皆さん、如何お過しですか。透析と仲良く、順調にお暮しですか？通院にお仕事にとそれぞれ頑張って居られることと思えます。小樽第二病院の私達も、先生始めスタッフの方々に支えられて、恙無く毎日感謝して暮して居ります。

今年も恒例の腎バンク登録キャンペーンが終り、ほっと一息ついて居ることでしょう。十月七日、小樽の空は雲一つなく青く澄んで、津田会長さん先頭に街頭に立って呼びかける私達十三名を応援してくれて居る様でした。観光都市



としてすっかり有名になった小樽、この日も小樽駅前には相変わらずのにぎやかさで汽車が着く度、バスが着く度連れだって大勢の人達がどっと私達の立って居る駅前交差点の方に歩いてこられ、キャンペーン中の私達に御協力下さいました。いつも元気一杯の人は病気の事など縁がありませんから、無視して通り過ぎる人も居りますが、殆どの方達は立ち止ったり或は歩きながらもチラシを受け取って関心を示して下さいました。

その時、一人の方とのこの様な会話がありました。一寸御紹介致

しますので聞いて下さいね。

「腎バンクへのキャンペーン中です。これをお読みになってよろしくお願いします。」「ああ腎臓かい。御苦労さんです。実は私の家内も長いこと腎臓が悪くてね。疲れ易いし、しょっぱい物食べられぬし、朝起きると顔がぶっくりふくれて居るし大変なんだ。」「透析受けて居られないのですか？」「いや、あれやったらおしまいだべさ、週に何回も通院しなければならぬし、どうしようもないべさ。」どうやらこの男性は私達が透析患者であることに気がついて居られない様です。

「私達は透析を受けて居るのですよ。それでとても調子がよろしいし、病院以外の日は、普通の生活が出来るのですよ。」「？」「お相手はびっくりした御様子です。」「私はもう十年にもなるのですよ。なるべく早く早いに透析のことを考えてみた方がよろしいですよ。」と私と。ペアのNさん。「そうですか。家へ帰って家内に話してみるか、どうもありがとう。」

透析の事をよく知らないで遠くから恐る恐る眺めて居ますと、ま

るで人生の終りでもある様に考えて、出来ることなら近づかないようにしたいですものね。実際にこの私もそうでした。K先生に「なんで逃げまわってばかり居ないで早く病院に來なかつたの？」と最初の時言われましたもの。

腎バンクにお一人でも多くの方達に登録をお願いすることは勿論ですが、透析のことをよく知らないで現在腎臓病で苦しんで居る方達に私達のこれ迄の体験等を伝えて理解していただくことも大切なことではないでしょうか。あの方が帰宅して奥様共々病院の先生に御相談になったかしら、としみじみ心配して居るところです。

駆け足でやってくる冬。それぞれ環境や事情が異なっても同じ目的で通院する私達には厳しい季節が又やってきます。でも頑張りましょう。私はいつも思うのです。日本の国の様に、私達のような難病を持つ人達に対して行き届いた暖かい手をさしのべて下さる国はあまり無いのではないのでしょうか。これ迄に築き上げて下さった先輩達、そして現在私達の為に一生懸命御努力して下さい居る全

国の腎協の役員の方達、そして私達を見守って居て下さる方達の御陰を決して忘れてはいけないと思います。私達が日々安心してこの様に進歩した医療の恩恵にあずかる事の出来る喜びをかみしめ、更に後に続く方々の為に一人一人が自分の体の管理をしっかりととして、このすばらしい社会に何らかのお役に立つことが出来れば幸いと存じます。

(報告 盛山レイ)

### 札幌腎臓病患者友の会

札幌市の大通り三、四丁目まで患者家族、医師、医療スタッフ、道



庁、札幌市の行政、スノーライオンズクラブの合計八十名の参加でした。ティッシュ・風船・チラシを配布しました。また広報車のほり・横断幕なども用意し、無料血圧測定、無料腎臓病相談も行われ大変好評でした。HBC、NHK、STV、道新、朝日などで当日の模様は報道されていきました。当日の登録者は十八名、問合せは十五件でした。

今後の課題として、移植を希望している若い人達の積極的な参加を望みたい。まず患者の家族から登録をすすめていきたい。

(報告 岩崎)

### 留萌地方水無人腎友会

留萌市、羽幌町で患者家族・医療関係者合計二十九名の参加者でした。風船・ティッシュ・尿試験紙・チラシなどを配布しました。ゼッケン・拡声器・プラカード・横断幕も用意しました。道新・留萌・羽幌タイムスに報道されました。

今後の課題として、一般市民に私達の会活動を直接訴える機会です。辛抱強く続けていかなければ



ればならないと思った。

(報告 豊島)

### 苫小牧つくし会

苫小牧駅前サンプラザ広場で患者家族・医療関係者合計三十二名の参加でした。

ティッシュ・チラシなどを配布し、プラカード・ゼッケンを用意し、血圧測定も行いました。

苫小牧民報に掲載されていきました。

当日登録者二名、問合せ二件、カード送付二枚の反響でした。

今年は、駅前南北大型店を通ず

る道路を建設中で場所が悪かったので、来年からは連絡通路で何ヶ所か行おうようにしたい。

(報告 廣岡)

### 旭川地方腎友会

一条七丁目平和通りで患者二十五名の参加者でした。反響は例年と同じでした。今後は各病院の協力を進めて行き、市町村との関係を強化したい。

(報告 佐藤)

### 室蘭地方腎友会

室蘭市中島アイランドと伊達市農協ストアアの二ヶ所で、患者家族、行政の合計二十八名の参加者でした。ゼッケン・横断幕・広報車二台を用意しました。

室蘭市、伊達市や市議会議員、国會議員の協賛も得られました。登録者は六名でした。

今後はマンネリ化を防ぐため、医療施設・市保健センター福祉課等の共催の形にしたいと思った。

(報告 佐藤利國)

### オホーツク腎友会

ラルズプラザ網走店前などで、患者・家族十七名の参加者でした。



網走



夕張

風船・尿試験紙、ティッシュなどを配布しました。網走市、道議会議員などの協賛も得られました。行政関係の協力が得られ良かったです。(報告 佐々木)

### 釧路地方腎友会

長崎屋釧路店前で患者家族二十一名の参加者でした。NHKテレビにも報道されていきました。電話問合せが二件ありました。

(報告 上田)

### 夕張腎友会

石炭の歴史村で、患者家族医療

関係者合計十二名の参加者でした。夕張市社会福祉協議会の協賛を得られた。(報告 三浦)



# ブレックク便り

## 札幌ブロック

### 恒例の炊事遠足

札幌腎友会恒例の炊事遠足が九月二日(日曜日)に行われました。

この二、三年は、雨にたたられる炊事遠足だったので、今年こそは晴天になるように願いをこめて、ポスターに太陽のマークをたくさ

ん描いたりして準備を進めていきました。

当日になり、朝九時半に地下鉄真駒内駅に集合、マイクロバス二台・マイカー数台に分乗して出発です。今年も、例年(ポロピナイ)より足をのばしてモーターバイクキャンプ場へ向かい、一時間半ほど到着です。

さっそく、百三十人の参加者が六班に分かれて、かまどつくりを始めます。まず火をおこすのが大変です。みんな真っ黒になって頑張ります。

火がおきたところで、豚汁にかけます。大鍋に水を入れ、きざんだ野菜を入れます。それが煮えたら豚肉を入れ、味噌とだしの素やおろし生姜、一味等で味をととのえて、出来上がりです。

そして、金網でジンギスカンを焼きながら豚汁と各自持参のおにぎりにかぶりつきます。

また、自分で持ってきたエビやイカ等を焼く班もあり、ご飯を炊いている班までありました。

この頃から、雲っていた空も晴れ上がり、気温も今年一番の三十二・七度まで上がり、非常に暑くなりました。

皆、ビールやジュースをおいし

## 釧路ブロック

# 養老牛温泉一泊旅行

平成二年度秋の一泊旅行が、十月十三日(土)～十四日(日)の二日間にわたって実施されました。

参加者は会員家族含めて三十四名(そのうち根室地方腎友会の人三名)でした。

釧路市身障センターのバスを貸していただき、いざ目的地の養老牛温泉へ出発しました。曇り空ながら雨は落ちてこない道を快適に向かっています。

バスの中では、副会長の佐藤信

そうに呑みほし、子供達は水辺で水遊びをし、疲れた人達は、小屋の中で休んでいました。

午後には、おたまりレーとビンゴゲームを楽しみました。最後は全員で後片付けをしました。

普段、外出する事が少ない患者にとつては、楽しい一日を過ごせたのではと思います。

(報告 宮本好和)

洋さんが、ゲームやクイズで盛りあげてくれました。その中でも特に車のナンバーあてクイズはおもしろく、すれちがう車に目を光らせながら喚声をあげていました。そうして時間も忘れて遊んでいるうち、五時ちよつと過ぎに養老牛温泉へ到着しました。

その時には、根室地方腎友会の人たち三名が一足先に到着して、私たちを出むかえてくれました。部屋ごとに分かれて、さっそく

風呂に入ったり、横になって休んだりとのんびりしました。

宴会は六時から行われました。レクレーション担当の掛札副会長の音頭で乾杯!!ビールやジュースをつぎあいながら始まりました。

料理は、やまべのかんろ煮、とうばん焼、ごみのおしたしなど地元色あふれるメニューがいっぱいでした。少ないアルコールながらも皆が良いきげんになったころを見計らって、ゲームが始まりました。ジャンケンゲームで今日のつきを確かめてから、いよいよビンゴゲーム。五人の人がマヨネー

ズやドレッシングの景品を手にしました。あつち向いてホイゲームでは子供にかえって無邪気に笑い合っていました。

こうして、二時間ほどが「あつ」という間にすぎ、宴会が終了すると、それぞれ部屋に戻って、飲み直すもの、マージャンを始めるもの、風呂へ行くものと自由時間となりました。

養老牛温泉は動物博士ムツゴロウで有名な中標津町からバスで一時間ほど山へ入った所にあります。泉質は良好で透明、発汗作用が高く、透析患者にはもってこいです。参加した会員は皆大変喜んでいました。

こうして楽しい一夜を過ごして翌朝九時に養老牛温泉を出発して、地平線が三六〇度見渡せるという「多和平」をめざしました。

あいにく朝から雨でしたが、多和平からの眺めはとても素晴らしいものでした。一方では羊が放牧されているかと思えば、もう一方では牛が草を食べていたりして、のどかな田園風景という感じでした。晴れていれば北方領土も見えるところです。



のびのび気分を味わってから一路釧路へ向かい、一時間ほどで到着。一人のケガ人もなく全員元気に帰ることができました。

## 網走プロック

# 観楓会

十月二十日、二十一日、一泊二日の日程で、網走市卯原内の「能取湖荘」に於いて、観楓会を実施致しました。参加者は、患者十三名、家族一名の十四名でした。日

今回は三十名余りと参加者が少なかったのですが、来年はもっともっと参加してくれることを願っています。(報告 橋本巖)

帰りの方は、十名で宿泊者は四名でした。まず始めに、座席を決める「クジ引き」をしました。座席には色々な種類の景品を用意しました。予定の時間より少々遅くなりましたが、会長の挨拶で始まりました。「網走厚生病院人工透析室」が来年の秋頃迄には増設される内容等の報告がありました。この件につきましては、石田医院の患者さんが、一日も早く、最新の良い「機械」、「ダイアライザー」等の使用を心待ちにして居り、少しでも合併症の改善がされる事を強く望んで居ります。

「谷畑さん」の乾杯の音頭により、皆んな元気な声で「カンパニー」と個人の好きな飲み物を少しづつ飲みながら宴会が始まりました。

た。

「海の幸」、「山の幸」を心ゆくまで味わいながら、体調、体重増加の話し等に話はずみしました。

お腹が満足した後は、食後の運動?と迄は行きませんが、少し体を動かしてゴルフのバットです。

三本の缶ビールを立てて、中心の缶にボールが当たると景品が頂けますが、一人三本まで打つ事ができますが、思う様にボールが転がってくれません。皆さん真剣な顔で頑張つて居りました。其の後は「文字当てゲーム」をしました。二人一組になり、後ろの人が前の人の背中を決められた「文字」を書くのですが、「ひらがな」、「カタカナ」の文字は、なかなか分からないの

## 旭川プロック

# 旭川地方腎友会結成記念

## チャリティー歌謡ショー開催

で、真剣に考えなければなりません。皆さん必死でした。

沢山の景品を手にして満足している様子でした。アツという間に八時が過ぎてしまい、「畠山さん」の「バンザイ」により宴会を終りました。

宿泊者は四名でしたので少し淋しい思いでしたが、少量の「水割り」を口にしながら、夜中迄色々な話に花が咲きました。もっと沢山の方が泊つて頂けたら、個人の悩み事等、色々なお話しが出来たと思います。とても残念に思いました。又次の機会を楽しみにしたいと思つて居ります。

とても楽しい、ひとときでした。(報告 佐々木保子)

旭川地方腎友会が結成されて三年が過ぎました。その存在は、単に会員患者への情報伝達のみならず、

社会的活動を伴った団体として成長発展していかなければならないものと考えます。



このような観点から、この度、会結成三周年を記念し当腎友会主催、道腎協協賛、旭川市および市内各透析施設等の後援をいただき、九月十六日旭川パレスホテル大ホールにて盛大に「チャリティー歌謡ショー」が開催されました。

会結成後初めての大きな事業のため、企画の段階でいろいろ不安がありました。実行委員会を作り頻りに打ち合わせを重ねるなか、多数の会員の協力でチケットの販売も順調に進み、チャリティーショー成功に向けて仄かな明かりが見えてきました。これらの過程で、当



腎友会の会員でもあり地元でプロ歌手として活躍しておられる郷田二郎さんと、その関係の方々には大変お世話になりました。

さて、緊張と不安のうちに当日を迎えましたが、会場は四百名を超える一般市民や透析患者が入場し、また札幌からは岩崎道腎協会長夫妻も激励に駆けつけて下さいました。

プログラムのようですが、来賓に旭川市長代理として助役さんと、日頃の会活動で何かとお世話になっている市会議員の方の祝辞をいただいた後、第一部では増田クリニツクの増田一雄院長が「腎臓病について」と題した講演をし、一般参加者にも分かりやすい腎臓病の予防方法などを紹介。塩分の取り過ぎや、高血圧などを例に腎臓病との関わりを話されると同時に、透析患者への理解を呼びかけました。そのあと当腎友会会長より、後援をいただいた各透析施設の先生方へ日頃の医療活動のご苦労に対し、感謝状が贈られました。

引き続き第二部では、患者四人を含むカラオケ愛好者十四人が自慢のノドを披露、会場からは掛け

声飛び交い花束が手渡され、また岩崎会長の奥様には、この道二十年のキャリアを持つという日本舞踊で、舞台上に色どりを添えていただくことができました。

第二部終了後、チャリティー贈呈式が行なわれ、本日の益金の一部を旭川市民生局福祉部へ寄付し、大変感謝されました。この寄付金は、旭川市長寿社会生きがい基金に組み込まれることになりましたが、目前に迫った高齢化社会に対して、まさに時宜になつた贈呈先と思われます。透析患者が医療費の無料化をはじめ、様々な社会的恩恵を受けている現在、今日の催しを通じてささやかながら、恩返し of 真似事ができたのではないかと思います。

最後に第三部、ゲストコーナー

## 道南ブロック

# 秋はやっぱり観楓会！

秋になりました。朝は、少し寒くてストロブが恋しい今日この頃ですが、みなさんはいかがお過ごし

として市内でカラオケ教室を主宰している先生方お二人のプロ級の歌を堪能したあと、いよいよ特別ゲストとして先に紹介した郷田二郎さんがデビュー曲の他数曲を熱唱、アンコールもかかり、会場からは大きな拍手が湧き起こっていました。

このように、当腎友会としては初めての大きな行事でしたが、当初の不安も杞憂にすぎず、成功裡に終えることができました。

将来を展望した場合、透析患者をとり巻く状況は厳しいものがありますが、今回、会員達が協力してなした成果を基盤に、全腎協、道腎協のもとに団結して未来に継げたいと思います。

(報告 藤田勉)

しですか？行楽には、もってこいの季節になりましたね。私たち鳥居腎友会では、秋を満喫したく一



泊二日で洞爺湖温泉にて観楓会を行ないました。

十月六日(土)PM一時四〇分に十七名を乗せたレンタカーで一路洞爺湖をめざしたのでした。この日は、天気はまあまあで大沼や駒が岳、色づきはじめたばかりの山並の紅葉を見ながら長万部へ。長万部では、かの有名なドライブインかなやでコーヒータム。そして静狩峠を通り豊浦―蛇田―洞爺村の街をぬけて洞爺湖へ。そして洞爺湖温泉北海ホテルへ無事着いたのでした。

北海ホテルは、温泉地の騒がし

い所より少し離れた静かなホテルでした。ゆつたりとした温泉につきかり旅のつかれをいやし、のんびりとしたところで宴会が始まりました。食事は、まあまあでしたが、みんなで食べたのでとてもおいしかったです。あと大きなお魚(名前がわからないが赤い身でした。)生き造りが豪華でとろとろと舌でとろける味が何とも言えずおいしかったです。その後カラオケ大会。今回は、いつも歌わない人にも歌っていただいで大変な盛り上がりよかったです。あつという間の宴会が終わり、少したつと洞爺湖温泉名物の花火大会が約三十分におわつて、秋の澄んだ夜空にきれいな大輪の花を咲かせたのでした。

二次会は、マジジャンしたり、スナックへ行ったりなど飲む、食べる、遊ぶ、歌うと夜の更けるのも忘れて楽しみました。十月七日(日)の朝は、昨日の後遺症もあって少々寝むたい。それでも素晴らしのお天気に恵まれ気分はルンルン。朝湯につかり目を覚まし朝食をみんんでおいしくいただきました。AM十時にお世話になった北海ホテルを出発しました。洞爺湖の

おみやげは、なんといつてもわかさいもですね。わかさいも本舗で大抵の人は、わかさいもを買います。私たちもご多分にもれずわかさいもを買ったのでした。行けなかった人にも券囲気だけでも味わってもらおうと思っておみやげを買いました。その後、昭和新山へと向かったのでした。写真で見るとすばらしい景色でした。昭和新山の麓で自由行動が約一時間ちよつとありました。有珠山ロープウェイに乗り、有珠火口や展望台よりの景色を楽しんだりした人、動物のたくさんいる牧場を見物に行き、餌をやって楽しんだ人、おみやげ

## 十勝アロツク

### 第三回合同レクリエーション

九月三十日(日)、芽室町営国民宿舎新嵐山荘に於いて、第三回北海道難病連十勝支部合同レクリエーションが開催されました。

当日は青空とはいかず雨の降る日ではありましたが、十勝腎友会からも大勢の人が参加されました。

店を見たりしてた人など個々に楽しんでたのです。昼前に昭和新山を出発して長万部に向かいました。長万部では、有名なかにめしを昼食にみんないただきました。そして函館へと帰路についたのでした。今回は、初めての一日の観楓会でしたが、事故もなく無事に楽しくすごしました。ということで鳥居腎友会の観楓会は、会員同志の友情も深まって好評のうちに終わり、写真とともに参加した会員のみなさんの思い出となる会でした。来年も予定していますので、その時又報告できると思っています。

(報告 佐藤真美子)

午前十一時からのフリータイムでは宿舎内を散策する方、入浴する方、いろいろな人と語り合い交流される方がいました。

十二時昼食。

午後からはたくさんのおみやげが用意されたお楽しみタイムでジャン

## 私の考え

### 小城めぐみ（札幌）



皆さん、毎回のHD順調に行なわれていらっしゃるでしょうか？私も八年目に入り、要領も覚え無理なくHDを受ける事が出来ています。この度、道腎協の方から何か投稿する様にとの事でしたので、日頃思っている事を述べさせて頂きたいと思います。

ケンゲーム、難病連ビンゴゲームなどに皆が力が入り身体の具合をわるくする人なく楽しい一時を過ごしました。

（報告 宮城）

まず始めに道腎協の会員と、HDの患者の数の格差が有り過ぎるという事です。

会長の岩崎さんがいつも言っておられる様に、組織の力が大きい程、交渉等の力も大きくなるというお考え、全く同感です。組織力を大きくする為には、会員数の多い事が絶対条件だと思います。それで私の意見としてはHDを始めた時、即会員で有るべきだと思っております。何故かと言えば、今私達が安心して平等にHDを受ける事の出来るのは、医学の進歩も勿論

に会話していた人が二時間ぐら以後で亡くなるということが有ったり、昼間は歩いていたら夜には亡くなるという事も有りました。特に一番ショックだったのは、高校で担任だった恩師が、医大で一緒に入院していた時です。私が重篤だったので、端から端で二つの部屋は離れていた所だったので、部屋まで尋ねて下さり、『お互いに頑張ろう』と誓ったその夜亡くなった事です。それは昭和四十五年五月の事でした。翌年からHDの導入が一般化し、現在もその当時からHDを受けお元気で普通の生活をして居られる方々もいらっしやるのを拝見して、恩師もあと一年頑張って生きて頂いていたら、HDの恩恵を受けて、今も教鞭を取っておられたかも知れないと、いつも思います。

でも当時のHDは、機械だった今の物とは比べ様もない位、機能が劣っていたため、患者は、それは大変な制限のある生活でした。その人達はそんな生活が生きて行く為の最低の条件だったので。傍観者の私でさえ「大変だなア」と感心していました。だからその



人達の精神のお陰で今の素晴らし  
いHDが行なえる様になったので  
すから、少しでも先輩達に感謝の  
気持ちがあるのなら、私達も自分  
の生活を振り返って、少しでも良  
い状態をコントロールするのが当  
り前の事だと思えます。それが今、  
口々に言われている「クオリティ  
オブライフ」そのものなのです。

又医療費の問題だって、国会請  
願に署名して下さった多くの人や、  
税金等を払って下さる人達が居て  
成り立っているのです。私達患者  
は眼に見えない多くの人達によっ  
て支えられているのです。恩恵は  
HD患者には、会員・非会員平等  
に受けられるのです。

非会員の方が回りにいらしたら、  
積極的に働きかけ会の組織がもつ  
と力を持つ様努力致しましょう。  
いろいろな事情で会員になっても  
会費が負担な人には、特例を持つ  
て名簿上だけでも会員になると言  
う方法も有ると思えます。現に群  
馬県の高崎市では、実行されてい  
ました。クオリティオブライフ  
と簡単に言われても、どの程度まで  
制限するかと言う程度が人それぞ  
れ違うと思えます。私の行なってい

るコントロールの仕方を少し書き  
ます。(そんな事、誰でもしていると  
お叱りを受けるかも知れませんが)

まず、一番問題の塩分の減らし  
方ですが、野菜などの炒め物をす  
る時は無塩バターを多目に使い、  
その香りだけで大丈夫、食べられま  
す。醤油やソースもいらぬので  
まず一品は無塩で摂取出来ませ  
す。

魚はなるべく煮付けにせず、極力  
焼いて、少し焦げめを付け、生姜  
酢とかレモンをかけて食べると、  
ここでもほんの少しの塩分(もと  
もと品物に含まれている分)で美  
味しく食べられます。お刺身なども  
なるべく自身の物は、レモン汁で  
食べると良いと思えます。

この様にして日頃、塩分を少な  
めに摂取していると、たまには漬  
物とか塩辛などを少量摂取する事  
が出来ます。次が水分です。塩分  
が少なめだと当然水分も少なくて  
すみます。その他の水としては、  
くすりを飲む時(特に粉末の場合)  
オブラードで包んで飲むとほんの  
少しの水で間に合います。データー  
の面で納得のいかない時は、Drや  
スタッフの人にアドバイスを受け  
るのがより良いデーターを維持出

来るコツです。私も先日、Pが高  
く赤線が引かれましたが、丁度そ  
の時Dr渡井のアドバイスで沈降炭  
酸Caは、食直後か又は食事中の方  
が効果が有り、食間だとむしろ害  
になると言って居られたので、す  
ぐ実行してみたら四台の低さにな  
りました。同じ食物やくすりでも、  
より良い効果を上げるために多く  
の情報を受ける事も必要になるわ  
けです。以上の事をいつも思っ  
ているので書きましたが、皆さまは、  
すでに行なっていると思えます。

或るDrは、「HDの患者は病人で  
はない、身体障害者では有るが足  
の無い人が義足を付けたり、手の  
ない人が義手を付けるのと同じで、  
自己の腎臓が機能しないのを人工  
的に機能させるだけだ」と言っ  
ておられます。導入まもない人も早  
く自分のコントロール法を見つけ  
て、少しでも長く楽しく生きてい  
く事が、多くの皆さんへの御返  
しだと思えます。

医学には進歩はあっても後退は  
絶対有り得ないのです。一日でも  
長く生きた方が勝ちだと、医大の  
婦長さんが二十五年前からいつも  
言っていた事です。それを寄り所  
に、私も今日を迎えて居ります。  
皆さんも明日の医学の進歩を期待  
して頑張りました。

## 今、挑戦者として生きる

岡崎 由紀夫(十勝)

自分が透析を開始してから、い  
つの間にももう五年目を迎え、現  
在、通院している帯広西病院で透  
析するようになってからでさえ、  
まもなく、満四年になろうとして  
います。

自分が透析を導入したのは、帯



広厚生病院でのことでした。しかし、その時の厚生病院には、まだ、外来透析の設備がありませんでした。その当時、外来透析のある帯広市内の各病院は透析患者で何処も一杯でした。

そんな状況の中で唯一、余裕の出来た西病院で透析するようになったのです。厚生病院では、外来透析が出来るように設備している最中だったので、最初、西病院で透析している頃は、厚生病院で外来透析が可能になったら、厚生病院へ戻るつもりでした。だから、その頃、まさか西病院で四年間も透析するようになるとは考えてもいませんでした。

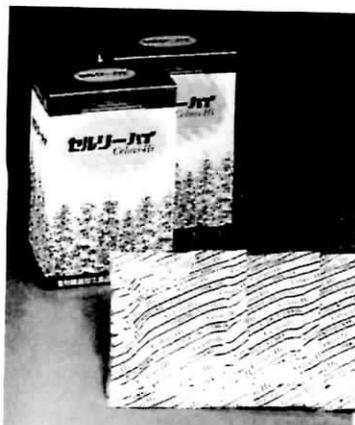
特別、西病院の何が良いのかはよく判らないけれど、今の西病院が自分には一番居心地がよいのでしよう。今だに西病院で透析を続けています。しかし、西病院の透析全てに対して満足している訳ではありません。

確かに、自分が初めて西病院で透析しに来た頃に比べると、いろいろな面で良くなっていますが、まだ改善してほしいと感じる所も多くあるように思われます。病院

を良くするためには、医師や看護婦さん達の努力ももちろん必要ですが、まず、患者の方から行動しなければならぬと考えます。患者一人で行動して無理でも、患者の組織で行動することにによって道は開けるものです。透析患者の組織として、腎友会があります。自分は十勝地方腎友会に入会している訳ですが、今までの腎友会は、一部分の人達だけが一生懸命行動していることが多い。今年度になり、今まで長い間、会長をつとめてこられた新倉さんが辞任され、新たに十勝地方腎友会の会長に木村さんが就任されま

セルリーハイは、カリウム、マグネシウム、リンを摂取することなく食物繊維を効率よく補給できる粒状食品です。

セルリーハイは、最も純粋な形の食物繊維・セルロースとフラクトオリゴ糖で作られた食物繊維加工食品です。2~3日で1袋(90粒)を目安に召上れば、現代の食生活に不足しがちといわれる食物繊維(フラクトオリゴ糖を含む)を1日当り約8~12g補給することができ、しかもカリウム、マグネシウム、リンなど無機塩類をほとんど含みません。



食物繊維加工食品

**セルリーハイ**  
Celuri-Hi

製造発売元



**扶桑薬品工業株式会社**

大阪市中央区道修町1-7-10 TEL (06) 969-1131(代)

お問い合わせ先



**扶桑薬品工業株式会社**

**札幌支店**

〒003 札幌市白石区東札幌5条1丁目2番20号

☎ (011) 814-3811

した。これをきっかけに、腎友会、各病院にいろいろな変化がおこりました。腎友会においては、役職、役員数を増やすことによって腎友会の組織体制の強化がなされ、また、今まで患者会のなかった病院では、透析の患者会をつくろうとする動きがみられました。こんな状況の中で、西病院にも、三年ぐらい前から話だけがあったのですが、正式に八月五日に大沢さんを会長として透析患者会が発足しました。

最初、この西病院に透析しに来ていた時は、どうせ、すぐ厚生病院へ戻るのだから、西病院などどうでもよいと考えていた自分でした。皮肉なことに、そのどうでもよいと考えていた西病院に、透析患者会をつくろうと提案し、透析患者皆さんに呼びかけたのは自分でした。自分が西病院に透析患者会をつくろうと決心したのは、新倉さんが、腎友会の会長を辞任ということが大きく関係してしました。新倉さんが腎友会の会長をつとめていればこそ、西病院に腎友会のいろいろな情報が自然と入ってきたのです。新倉さんが会長を

辞任してしまえば、確実に西病院へ入ってくる情報は減ってしまいます。それで、透析患者会をつくることにより、病院単位での患者組織の団結力を強化させ、共に腎友会とのつながりを深くしようと考えたのです。西病院に透析患者会をつくるということは、自分にとって一つの勝負でした。

果たして本当に西病院に透析患者会をつくることができるのだろうか、不安との戦いの中で、以外にも簡単に透析患者の皆さんの協力を得ることができ、なんとか透析患者会を発足させることができました。自分は人生とはゲームだと考えます。ゲームにはルールがつきものです。ルールとは制限です。人それぞれにルールは違っていますが、制限されている中で、皆、人生のゲームを戦っているのです。全ての人は、人生のゲームにおいて勝利者になるために、一日一日勝負して生きている挑戦者です。西病院に透析患者会が発足した時、自分は一つの勝負に勝つたのだ、一つのゲームの勝利者になれたのだと思いました。でも、透析患者会の発足と同時に、また、新たな

ゲームが始まり、自分は挑戦者として、ゲームを戦わなければなりません。透析患者会をより良くするために、今自分は戦っています。一つのゲームが終われば、すぐ次のゲームが始まる、それが人生だと思えます。一つ一つゲームを勝ち進んでいき、より良い人生がおくれるように、誰もが勝利

者を目指して生きています。勝利者になるために一番大切なのは、あきらめないことです。どんなルールのゲームでも最後まであきらめず戦い続けた者が、勝利者となるのです。今、自分は西病院透析患者会の事務局長として、人生のゲームにおいて、挑戦者として新たな出発をしたばかりです。

## 一般投稿

# 私の生き甲斐

滝川クリニック 宮本 律子（透析九年）  
（七カ月）

道腎協事務局の皆様、お元気で  
すか。四国旅行の時は大変お世話  
になり、まことに有り難うござい  
ました。

十年を迎えますが、まだまだと希望がわいてきます。

「どうじん」初秋号に四国旅行  
に参加した方々の投稿がのり、懐  
かしく拝見いたし、皆様のお元気  
な御様子が目に浮かびます。

本当にたのしい旅で皆様が無事  
お元気でありました事、大変うれ  
しく思いました。健常者と変わら  
ぬお元気で、私も来年三月で透析

私の子供の頃から親の趣味でいろいろ習い事をさせられ、子供にいやいや通っていたのですが、現在のように透析人生を送るようになって習い事をしていました事、何十年も過ぎた今頃になって亡き両親に感謝しております。数多くの中で自分の本当の趣味として残ったのは華道と書道と二つだけです。若い時、家元と先生から名前をい



ただき、今日にいたっております。

華道は日本生花司、松月堂古流、律松園。書道は先生のお名前の一字をいただき「晴船」とつけていただき、私の財産と思っております。

夫は大変健康ですので社会的に多忙ですが、運動はテニス、又絵画は先生について精を出し頑張っております。おたがいに出来上がった作品を批評し合って上達するよう心がけております。

共通の生き甲斐は旅行です。時折折出かけております。又いつか、夫の作品と私の作品で二人展を出したいと夢の様な事も考えており、

息子達も応援してくださいませ。悔いのないように、あせらず、いそがず、ゆつくりと人生の終のページを過したいと思っております。

道腎協の役員の方々は大変でしようが、来年も又、旅行の企画をぜひお願いいたします。たのしみにしております。

同封の写真は私の作品の一部で書道の掛軸と色紙形の屏風です。まだまだ未熟ですが同封いたしました。これからも病気にまげず生き甲斐のある日々を送りたいと思っております。

皆様もお元気でお過ごし下さい。御多幸お祈り申し上げます。



## 事務局から

### お知らせ

○札幌で透析をしている石川弘二さんが透析歴十五年を経過した記念に「透析人生」一腎不全に生きる―を発行しました。

道腎協に多数、本書を寄贈して戴きましたので希望者に配布したいと思います。

先着順に配布しますがなくなりしだい締切り致します。

希望者は二六〇円（送料実費）の切手を封筒に入れ道腎協事務局へ申し込みして下さい。

○道南腎協の中野龍一さんから切手の寄贈をして戴きました。

○北海道医療社会事業協会の顧問であり、札幌市内の病院でソーシャルワーカーとして当会にもご協力をいただいた清水清先生が十一月七日逝去さ

れました。

ご遺族の方より、金二十万円をご寄附いただきました。

謹んでご冥福をお祈りするとともに、心より感謝申し上げます。

### ■おくやみ

田中 稔さん (道腎協 幹事)

十一月十五日心不全のため逝去されました。五十六歳でした。

田中さんの長年にわたる患者会活動のご活躍に敬意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

# 腎不全患者が10年間で10倍に

## 苫小牧地区

# 腎バンク登録呼びかけ

## 7日に市民にキャンペーン

腎臓は、毎分1リットルの血液を濾すのに必要なホルモンの組成に過して、体内で余分になっても行かず。腎臓の病気が、自覚症状がた水分や塩分、老廃物を尿として排せつする。血や骨の代

腎臓は、毎分1リットルの血液を濾すのに必要なホルモンの組成に過して、体内で余分になっても行かず。腎臓の病気が、自覚症状がた水分や塩分、老廃物を尿として排せつする。血や骨の代

腎臓は、毎分1リットルの血液を濾すのに必要なホルモンの組成に過して、体内で余分になっても行かず。腎臓の病気が、自覚症状がた水分や塩分、老廃物を尿として排せつする。血や骨の代



腎臓提供を呼びかけるカード

腎臓病は、毎分1リットルの血液を濾すのに必要なホルモンの組成に過して、体内で余分になっても行かず。腎臓の病気が、自覚症状がた水分や塩分、老廃物を尿として排せつする。血や骨の代



腎バンク登録を呼びかける会員たち

### 街頭で腎バンク登録呼びかける

「腎(じん)バンクに登録をお願いします。腎バンク登録を呼びかけます。」

十勝腎友会

録者拡大・全国一斉街頭キャンペーンに合わせ七日午前十時から、十勝地方腎友会(木村幸雄会長、会員百六十人)が帯広市内の藤丸とイトーヨーカード前で臓器提供の協力を呼びかけた。

この運動は、厚生省が提唱する十月の腎移植推進月間の一環として全国で展開され、今年で十回目。帯広では人工透析患者や家族らがパンフや風船などを配って市民に協力を呼びかけた。この日のキャンペーンでは死後の腎臓提供者登録カードも配布されたほか、無料で血圧測定や尿検査試験紙が手渡された。

十勝腎友会

族の承認を得て献腎される。しかし、白血球の血液型の一一致など二万人の登録がもつて一回の移植ができる確率」(広岡副会長)。しかも、道内腎バンク登録

# 腎バンクに登録を

## 道腎臓病 患者連絡協 7日にキャンペーン

北海道腎臓病(じんぞう)病患者連絡協会(岩崎重会長)は7日、腎バンクに登録者数拡大を目指した街頭キャンペーンを、札幌、函館、旭川、釧路など道内十八カ所で行う。

同協会によると、北海道腎臓バンクに登録し、死後に腎臓提供を申し出ている人は道内で一万二千七百五十八人(木現在)。一方、重い腎臓病に悩んでいる患者数は約四千人で、このうち人工透析を定期的に受けながら生活している約四百人の患者が腎臓移植を希望している。

同協会によると、道内で死体腎臓を使った最近の移植手術は昨年十一月に山立札幌病院、今年八月に札幌北病院で行われた例がある。腎臓移植は、提供者と患者の血球タイプの

一致しないと、移植後に拒絶反応が起ることもあつて、移植希望者は慢性的な腎臓病に悩まされている提供不足に悩まされている、という。腎バンク登録

を呼びかける全道一斉の街頭キャンペーンは今年で十回目。札幌では七日下午一時から、同市中央区大通西三付近の街頭で、札幌腎臓病患者友の会(鈴木啓三会長)の会員らがチラシを配るほか、医師や看護婦による腎臓病相談や血圧測定も無料で行われる。

## 羽幌



道行く家族連れにパンフ、風船などを手渡し協力を求める会員

# 腎バンクに協力を

## 腎友会が街頭キャンペーン

【羽幌】留萌地方水無人腎友会(池田利男会長)の街頭キャンペーンが七日、繁華街で行われ、腎バンク登録を呼び

かけた。腎移植推進月間全国統一キャンペーンの一環として、全道各地で一斉に行われたもので、町内の

活動には腎臓病患者や家族ら約十五人が参加した。腎不全の唯一の根治療法は腎臓移植、多くの患者がこれを待ち望んでいる。しかし、善悪の死後献腎による移植が少なく慢性的な腎臓病提供者不足という。キャンペーンは午前十一時から、中心街商店街の一角で開始され、看護婦による血圧測定が行われたほか、道行く住人に腎バンクや腎移植についての説明したパンフレット、風船などを配りながら、腎バンクへの協力を呼びかけた。

同腎友会によると、留萌管内の腎臓病患者は五十二人で、中部三町村には十五人おり、週二、三回、一回当たり四〜五時間の透析を生継続しなければならぬ上、水分や塩分の摂取制限が課せられるなど、社会生活、日常生活で厳しい制約を受けている。

## 編集後記

■ 早いもので今年もあとわずかとなりましたね。皆さんにとって、どんな一年でしたか。来年も、より内容の充実した「どうじん」にしたいと思えますので、多くの方々の投稿をお願い致します。(村本)

■ 十年、十五年以上の長期透析者が増えて来ました。色々な合併症に悩まされている人がたくさんいます。

■ 皆さんも合併症に負けずに頑張ってください。(鈴木)

■ 今年も師走に入り、残すところわずかとなりましたが、雪が遅く非常に暖かい日が続いております。

■ そのお陰で札幌の街が少し綺麗ですね。皆さん気温の差が激しいのでお体に気をつけて下さい。(永田)

■ 今年も暦が後一枚になりました。平成二年をふりかえって見ますと、入院、手術と色々な事がありました。なんとかが終わりそうです。来年は何か良い事があるかな？(堀井)

日通旅行企画

★

# 金沢・能登路3泊4日の旅

1991年5月16日(木)出発 **¥129,000** (全食事付)

期 日	行 程	宿泊地
5月16日 (木)	札幌——千歳空港(航空機)——羽田空港——富山空港 11:10頃 ——千里浜——妙成寺——和倉 18:00	和倉温泉 (和室)
5月17日 (金)	和倉温泉——輪島朝市——能登金剛——総持寺 ——巖門——金沢 透析	金沢市内 (洋室)
5月18日 (土)	ホテル——兼六園・武家屋敷・成巽閣——永平寺 ——山中温泉	山中温泉 (和室)
5月19日 (日)	山中温泉——東尋坊——小松空港(航空機)——千歳空港 11:35頃 13:00頃	

- 受付……………4月20日迄 定員(30名)+家族数名で締切ります。  
(お部屋は定員ベースです。個室等のご希望の方は別途料金となります。)
- 日通旅行では…航空券・JR券・宿泊券・海外旅行・国内旅行、ひとつ上を行くルックワールドの販売も致しております。是非お問い合わせ下さい。

● 詳しい資料の請求・お申し込みは……

**日通旅行** 札幌中央旅行センター  
〈日本通運(株)運輸大臣登録一般第19号〉

**☎ (011) 222-2266**

〒060 札幌市中央区北5条西1丁目(日通ビル1F)  
 担当 北條 達雄

昭和四十八年一月十三日 第三種郵便物認可  
 平成二年十二月十日発行(毎月十日発行)

日通巻二二四号

発行所 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原義郎  
 印刷所 札幌市北区北十三条西一丁目 大輝印刷株式会社

頒価三百円